

教科名	数学	科目名	数学a	履修学年	中学1年 全クラス		
単位数	3	使用教科書		教科書：これからの数学1・2（数研出版）			
担当者	中田(全クラス)	教材等		問題集：STEP演習 中学数学1・2（数研出版） その他：プリントなど			
学習目標	「算数」から「数学」に変わるにあたり、「数学」を学習する上での基本的な考え方を身につける。 問題演習を通して効果的な自己添削の仕方を学び、中学数学の基礎計算技能を習得する。 授業内ミニテストをチェック機能として活用し、家庭での反復練習の習慣をつける。						
評価方法							
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準	授業や教科書などで学んだ基本的な内容や概念、原理・法則を理解している。問題に対し、学んだ知識を利用して、適切な計算をすることができる。		正負の数や文字式・方程式の知識などを活用し、それらを組み合わせて考察しようとしている。自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、粘り強い取り組みを行おうとしている。		
各観点の授業内評価方法等	定期考査(基礎～標準問題) 授業内ミニテスト など		定期考査(応用問題・発展問題) レポート など		授業内宿題の提出状況 毎日課題の取組状況 長期休暇中課題の取組状況 など		
学期末の各観点比率(%)	約40%		約30%		約30%		
授業計画							
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等			時間数	区分1 評価	区分2 評価
1	4	～準備～ 入学前課題の確認・算数の確認 数学1 1章 正の数と負の数 1節. 正の数と負の数			約13	1 学期 中間 考査	
	5	2節. 加法と減法 3節. 乗法と除法 4節. いろいろな計算					
	6	数学1 2章 文字と式 1節. 文字と式 2節. 文字式の計算 3節. 文字式の利用			約12		
	7	数学1 2章 文字と式 3節. 文字式の利用 ～夏期補習「正の数・負の数」「文字式の計算」			約6		
2	9	数学1 3章 1次方程式 1節. 1次方程式 2節. 1次方程式の利用			約14	2 学期 中間 考査	確認 到達 第1 度 回 ト
	10	数学2 1章 式の計算 1節. 式の計算					
	11	数学2 1章 式の計算 2節. 文字式の利用 数学1 4章 比例と反比例 1節. 比例 2節. 反比例			約15		
	12	数学1 4章 比例と反比例 3節. 比例と反比例の利用			約6		
3	1	数学2 2章 連立方程式 1節. 連立方程式 2節. 連立方程式の利用			約14	学 年 末 考 査	確認 到達 第2 度 回 ト
	2						
	3	※ 三元連立方程式			約3		

教科名	数学	科目名	数学b	履修学年	中学1年 全クラス		
単位数	2	使用教科書 教材等	教科書: これからの数学1・2 (数研出版) 問題集: STEP演習 中学数学1・2 (数研出版) その他: プリントなど				
担当者	白岳						
学習目標	科目名が「算数」から「数学」に変わるにあたり、「数学」を学んでいく上での基本的な考え方を身につける。特に、数学bでは、図形の性質を理解し、根拠を明らかにしながら論理的に解答を記述できることを目指す。与えられた学習のみだけでなく、自分で学習する姿勢を身につける。						
評価方法							
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準	授業や教科書などで学んだ基本的な内容や概念、原理・法則を理解している。問題に対し、学んだ知識を利用して、適切な計算をすることができる。		平面図形や空間図形の知識を活用し、それらを組み合わせ考察しようとしている。自分の考えや解法を正しく表現・説明しようとしている。		知識・技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、粘り強い取り組みを行おうとしている。		
各観点の授業内評価方法等	定期考査 宿題プリント		定期考査 授業課題 レポート 課題		授業態度 宿題の提出状況 授業内の振り返り		
学期末の各観点比率(%)	50%		30%		20%		
授業計画							
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等			時間数	区分1 評価	区分2 評価
1	4	数学1 5章 平面図形 1節. 平面図形 2節. 作図 3節. 円 [発展]三角形の外心・内心			約10	1 学期 中間 考査	
	5						
	6	数学1 6章 空間図形 1節. 空間図形 [発展]立体の切断 2節. 立体の体積と表面積			約8	1 学期 期末 考査	
	7						
8	数学1 7章 データの活用 1節. データの整理とその活用 2節. 確率			約4			
2	9	数学2 4章 図形の性質と合同 1節. 平行線と角 2節. 三角形の合同			約9	2 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10						
	11	数学2 4章 図形の性質と合同 3節. 証明 数学2 5章 三角形と四角形 1節. 三角形			約11	2 学期 期末 考査	
	12						
3	1	数学2 5章 三角形と四角形 2節. 四角形			約12	学 年 末 考 査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2						
	3						

教科名	数学	科目名	数学a	履修学年	①中学・高校	2年	全 組		
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	教科書：これからの数学2・3						
担当者	山崎		問題集：STEP演習 中学数学2・3						
学習目標	1年次に学んだ方程式や関数・比例・グラフの概念を拡張し、既習事項の理解を深めながら数学的に考察・創造していく力を養う。自分の考えや解法を正しく表現し、場面に応じて適切な計算処理を正確に行えるようになる。毎週の小テストを道しるべに自己添削を習慣化し、学習者としての自律を目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	授業や教科書などで学んだ数学的な内容や概念、原理・法則を理解している。問題に対し、学んだ数学的知識を利用して、適切な計算をすることができる。		方程式や関数・グラフの知識などを活用し、それらを組み合わせて考察することができる。自分の考えや解法を正しく表現・説明することができる。		知識・技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、粘り強い取り組みを行っている。粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。				
各観点の授業内評価方法等	定期考査(計算問題)の得点 豆テスト・小テストの得点		定期考査(活用)の得点 定期考査・到達度確認テスト等の記述内容 授業内活動(相互説明)		STEPノートの取り組み状況(自己添削) テスト直し等(きちんと取り組んでいるか) 授業内活動(授業態度)				
学期末の各観点比率(%)	40%		30%		30%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学2 第3章 「1次関数」 1節. 1次関数 2節. 1次関数と方程式 3節. 1次関数の利用					14	中間考査	
	5								
	6						数学3 第1章 「式の計算」 1節. 多項式の計算 2節. 因数分解 3節. 式の計算の利用		
	7								
8	1学期のまとめ					2			
2	9	数学3 第2章 「平方根」 1節. 平方根 2節. 根号をふくむ式の計算					12	中間考査	到達度確認テスト①
	10								
	11	数学3 第3章 「2次方程式」 1節. 2次方程式 2節. 2次方程式の利用					17	期末考査	
	12								
3	1	数学3 第4章 「関数 $y=ax^2$ 」 1節. 関数 $y=ax^2$ 2節. 関数の利用  2年生のまとめ					16	学年末考査	到達度確認テスト②
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学b	履修学年	①中学・高校	2	年	全	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	教科書：これからの数学2・3							
担当者	下邨・相澤		問題集：STEP演習 中学数学2・3 その他：プリントなど							
学習目標	与えられた学習のみではなく、自分で学習する姿勢を身につけることを目指す。図形の性質を理解し、根拠を明らかにしながら論理的に解答を記述できることを目指し、正しく数値計算を行えるよう反復練習を行う。									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	授業や教科書などで学んだ数学的な内容や概念、原理・法則を理解している。問題に対し、学んだ数学的知識を利用して、適切な処理をすることができる。			図形の性質や関係性の知識などを活用し、それらを組み合わせて考察することができる。自分の考えや解法を正しく表現・説明することができる。			知識・技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、粘り強い取り組みを行っている。粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。			
各観点の授業内評価方法等	定期考査(計算問題)の得点 小テストの得点			定期考査(証明問題など)の得点 宿題・小テストの途中記述 授業内活動(相互説明)			問題集ノートの提出状況(自己添削) 授業内活動(授業態度)			
学期末の各観点比率(%)	40%			40%			20%			
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学3 第5章 相似 1. 相似な図形 2. 平行線と線分の比(三角形と比)						9	学期 中間考	
	5									
	6	2. 平行線と線分の比(中点連結定理, 平行線と線分の比) 3. 面積の比, 体積の比 <発展> 三角形の重心と内心						8		
	7	復習								
	8							4		
2	9	数学3 第6章 円 1. 円  <発展> 円に関するいろいろな性質						7	学期 中間考	
	10									
	11	数学3 第7章 三平方の定理 1. 三平方の定理 2. 三平方の定理の利用						9	学期 期末考	
	12	復習								4
3	1	数学2 第7章 確率						10	学年末考	
	2	図形問題総復習								
	3									

教科名	数学	科目名	数学 I	履修学年	中学 高校	3 年	A ~ E	組	
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学 I						
担当者	林・光岡		数研出版 CONNECT数学 I +A						
学習目標	方程式や関数・グラフの概念を拡張し、既習事項の理解を深めながら数学的に考察・創造していく力を養う。 自分の考えや解法を正しく表現し、場面に応じて適切な計算処理を正確に行えるようになる。 毎週の小テストを道しるべに自己添削を習慣化し、学習者としての自律を目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。 ・高校数学に耐える計算力が身についているか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自らの学習を調整しようとしているか。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査(計算問題・公式利用問題)の得点 タテストの得点		定期考査(活用)の得点 授業内活動(相互説明・別解発表)			問題集ノートの取り組み(自己添削・解き直し) 授業内活動(参加姿勢・振り返り)			
学期末の 各観点比率(%)	40%		30%			30%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	数学 I 第1章 数と式 1節. 式の計算 2節. 実数 3節. 1次不等式  中間考査					約 17	中間 考査	
	5								
	6	数学 I 第3章 2次関数 1節. 2次関数とグラフ 2節. 2次関数の値の変化  期末考査					約 15	期末 考査	
	7								
8	夏休み課題								
2	9	数学 I 第3章 2次関数 3節. 2次方程式と2次不等式 数学 I 第4章 図形と計量 1節. 三角比  中間考査					約 13	中間 考査	到達 度確 認テ スト ①
	10								
	11	数学 I 第4章 図形と計量 2節. 三角形への応用  期末考査					約 18	期末 考査	
	12								
冬休み課題									
3	1	数学 I 第5章 データの分析  学年末考査					約 12	学年 末考 査	到達 度確 認テ スト ②
	2								
	3	春期講習会 春休みの課題							

教科名	数学	科目名	数学A	履修学年	①中学・高校	3年	A～E	組		
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学A, NEXT数学 I 問題集： 数研出版 CONNECT数学 I + A							
担当者	府川, 高橋									
学習目標	数学Aの「確率」「図形」「整数」などを通して、計算力だけでなく、論理的に考える力を養う。 数学の解答の書き方を学び、答えにたどり着く過程をしっかりと記述できるようにする。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。				
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3学期は到達度確認テストの得点も考慮する。また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。				
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%				
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学A】準備 集合 【数学A】第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数						14	1学期 中間考査	
	5	第2節 確率								
	6							17	1学期 期末考査	
	7	夏期講習会								
	8									
2	9	【数学I】第2章 集合と命題 【数学A】第2章 図形の性質 第1節 平面図形(途中まで)						13	2学期 中間考査	第1回 到達度確認テスト
	10	第1節 平面図形(途中から) 第2節 空間図形								
	11							20	2学期 期末考査	
	12									
3	1	【数学A】第3章 数学と人間の活動						16	学年 末考査	第2回 到達度確認テスト
	2									
	3									